



優秀賞 (総合部門)

タイトル 久万ノ台の家 - 心地よく繋がる家 -

タイプ 持家一戸建

講評

老親の介護という高齢社会を迎えた日本では避けて通れない課題に、動線の整理やバリアフリーという基本を押さえ、耐震・省エネにも誠実に答えている。デッキを延長したことで母の部屋との繋がりができ、庭とも一体感を持たせた。

リフォーム前後の写真



① リフォーム前のリビング ② リフォーム後のリビング



③ リフォーム前のキッチン ④ 玄関ホール ⑤ お母様寝室



⑥ デッキと愛犬コジロー君 ⑦ デッキに続くダイニング



⑧ 実った見事な桃 ⑨ 外観 家庭菜園の豊かな緑



⑩ 開放的なリビング … 和室側からキッチン方向 その奥の和室まで見渡せる伸びやかな空間 左側がデッキ。右側壁を挟んでワークルームとアトリエ。



⑪ 夜のリビング



⑬ 玄関ホール 古い欄間を使った造作家具 欄間は形を変えて、時を繋ぐ

彩の灯り



⑫ キッチン側から。正面建具は市松模様のサイザル麻クロス貼。



⑭ ワークルーム



⑮ お母様の部屋 車椅子対応の洗面・トイレ



⑯ お母様の部屋からの眺め 家庭菜園の緑が美しい

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

《動機》
使いにくい家事動線・収納などの見直しや、断熱性・耐震性などの住宅性能の強化、ご高齢のお母様の車椅子への対応の必要性に加え、円熟したご夫婦の、より快適なこれからの住まいへのご希望から、今回の全面改修となった。

《工夫点》
オープンキッチンの延長上に美しい緑の視界。LDKは既存のデッキと緩やかに繋がる。外にはご主人の自慢の家庭菜園。忙しい奥様を助ける短い家事動線。収納が具体化された造作家具。ペットの居場所を取り込むワーク

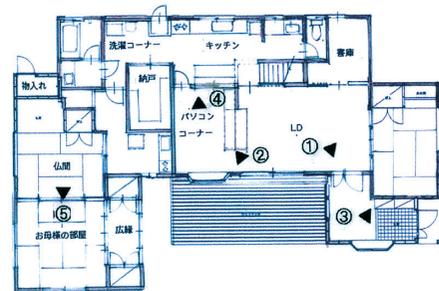
特に配慮した住宅性能
車椅子移動に関わる開口部は有効巾を確保し、バリアフリーとした。床・壁の断熱確保とともにペアガラスを導入し、断熱性の向上を図った。オール電化住宅とし、ヒートポンプ式給湯器・温水式床暖房などを採用した。トイレも節水型。基礎部分も補強し、壁量確保し、耐震性能を高めた。

所在地	愛媛県松山市	構造/築後年数	在来木 造/ 20 年
該当工事面積	143.06 m ² / 総工事床面積 239.89 m ²	該当部分工事費	2,400 万円 / 総工事費 2,520 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満: 2 人 / 65歳以上: 1 人 / 15歳未満: 人 / ペット: 犬1匹		
設計会社	ATELIER SOU	担当者	東 優
施工会社	(株)高市工務店	担当者	笠松 晶

ルームやアトリエには、優しいタイトルの床。引き戸を開けるだけでLDKとワークルームのように繋がり、動きやすく全体に気配が感じられる。色は濃茶と白。玄関の造作家具に古い欄間を使い、デッキを透かす。飾ったオブジェに光を当て、しっとりとした奥行きを表現。広がりを感じさせる照明手法で、より寛げる空間を演出した。

《施主の感想》
「十分な時間と対話が紡ぎ出した、緑と風の織り成す調和の空間になりました。母を介護しながら、二人の充実した老後を感じさせる終の住処が完成しました。」

リフォーム前



リフォーム後



S=1/200

